

事業所における自己評価結果

事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール真面目			公表日	2025年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			・毎セッションごとに療育室の使う場所を事前に打ち合わせ、セッション内容の共有や動線確認を行ったり、個室を使ったりして、適切なスペースが確保できるようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	職員の配置数としては欠員した際の早急な補充、あるいはそれに代わる補填が必要だと思われる		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	外の階段の手すりが子どもの上り下りに適しているとは言いがたいところがある	・階段を上る際は、保護者さまよりお電話をいただき、お迎えにあがっている。また、階段を下りる際は、必要と感じた場合職員が一緒に付き添って下りている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		元は相談室として保護者のみで使用していた部屋を「うさぎの部屋」として療育に使える個室として環境整備できた		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内で研修を受ける機会がたくさんあり、自分で選べるようになっている		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		発達の見直し結果なども参考にしながら作成している 変更のあった書式に応じて、5領域に合わせてアセスメントし、課題を考えていくことができている		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		子どもに係る職員とスクール長で相談・作成の後、全職員でカンファレンスし熟考することができている		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		新しい職員には特に活動内容の相談だけでなく、お子さんのねらいや声かけの仕方など細かいところまで含めた立案をチームで行っている		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		カンファレンスや申し送りにてローテーションで指導員が担当し、ねらいは継続しつつも固定化しないよう工夫している		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団活動に向けた準備を個別活動で取り入れたり集団活動で難しかった部分をアセスメントし、個別活動でスモールステップで取り入れたっている		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		同室セッションのお子さんのプログラム内容を把握したり、集団活動の前には綿密に打ち合わせしたりしている		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7				

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		「次回以降取り入れたいこと」という欄を作り、活用しながら検証して改善に役立つように書いている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	職員は保育所や幼稚園等に訪問し交流する機会がある	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		セッションについての振り返りだけでなく、日ごろの様子を聞き取ったり、園での様子を聞き取ったりしながら共通理解を持つことに努めている	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		「成長確認シート②」という書式を活用し、保護者の人が次期に向けてどのような意向をもっているか確認できるようにしている	
保護者への説明等	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		プログラム下部に関係機関連携と事務所内相談の希望をチェックできる欄を設け、適切な応じられるようにしている	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		今年度は2回、保護者会を実施した 今年度は就学に向けての話を聞いたり、保護者同士が交流できる機会を設けた	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		事業所内相談を実施し、対応している	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報、守秘義務の研修時に気になったことを話し合い、意識の向上になっている	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	育児の不安や悩みを気軽に相談できる「おやこひろば」を実施している	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
非常時等の対応	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			